

住民自治協議会だより

第40号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

第4回小田切夏まつりは、お盆休みで県外から里帰りの人も多く、また終盤には鍊成センター分館宿泊の約50名も加わり約230名が参加しました。今年は開始を1時間早めフィナーレを午後7時とし、校門から駐車場、会場へスズラン灯での案内を加えました。キッチンカーの出店に住自協も焼きそば、フランクフルト、飲料水を販売しそれぞれ完売し賑わっていました。

盆踊りは「びんずる踊り」、「炭坑節」に「小田切の里」でやぐらを囲み踊りの輪ができていました。一方、踊りの合間には翔和学園のゲームコーナーが賑わっており、ピンゴ大会は商品を増やし全員参加で夏まつりを盛り上げました。

打ち上げ花火もありましたが、6時過ぎからは手持ち花火を増やし子どもたちを中心に楽しみました。



小田切地区総合自主防災訓練

日時 令和6年10月27日(日) 午前8時～12時

会場 小田切交流センター体育館

主催 小田切地区自主防災組織連絡協議会、小田切地区住民自治協議会

人事異動

地域福祉ワーカー

〈退任〉大日方 清美

(8/31付)

ひとり暮らし高齢者の集い

福祉委員会は7月2日、交流センターで「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催し、対象者は65歳以上の74名で18名が参加しました。講話は出前講座「介護予防あれこれ講座」と題し根本奈津子健康運動指導士によるストレッチと筋トレ、シン・長野市はつらつ体操などで体をほぐしました。

昼食懇親会は乾杯のあと食事を取りながらのおしゃべりで、みなさん久々の顔合わせもあり楽しいひと時を過ごしていました。



三輪地区地域間交流会 わらび狩りとスマイルボーリング大会

三輪地区との交流事業は、5月12日にわらび狩りを行い三輪地区から42名が参加し、まず小田切歴史民俗資料室を見学し、小野平でわらび狩りの後、昼食交流会で親睦を深めました。

6月30日には三輪小体育館で「三輪地区スマイルボーリング大会」に、小田切から地公連チームと住自協チームの2チーム17名が参加し、地公連チームが優勝しました。



長沼水害復興支援プロジェクト わらび狩り招待と枝豆贈呈



枝豆播種体験

5月18日に長沼小学校児童をわらび狩りに招待、4～6年生の児童7名を含む20名が訪れ、わらび狩りと枝豆播種を体験しました。



枝豆贈呈は8月22日早朝に収穫し、そのまま軽トラ3台で長沼支所に向かい、長沼住自協に贈呈しました。

「2024年台湾東部沖地震救援金」日赤長野支部に送金

小田切地区住自協は、4月3日発生の台湾東部沖地震救援のため、住自協各会議や訪れたみなさんに募金をお願いし、6月20日をもって10,000円を日赤長野県支部に送金しました。

令和6年度 支所発地域力向上支援金事業

3団体より3件の応募があり、5月24日の選考委員会にて審議の結果、全団体への支援が決まりました。支援金総額は497千円です。

1 「吉窪城址保存会」 ～吉窪城址の景観整備事業～

塩入 晃 代表 支援額 252千円（要望額252千円）

吉窪城址は樹木が茂り荒れて眺望を阻害している状況にある。一帯の雑木林を整理し善光寺平方面を一望できる景観整備を行う。また訪れる人も多く案内看板の整備もする。

2 「NPO法人 小田切オアシス」 ～白菜の贈呈による長沼地区復興支援事業～

酒井 昌之 代表 支援額 115千円（要望額115千円）

長沼地区災害復興支援として、令和2年度から農産物を贈呈し交流を深めている。今後も継続的支援を行うため、秋に贈呈する白菜苗と栽培に必要な肥料、消毒剤を購入したい。

3 「NPO法人 長野翔和学園」 ～地域住民との交流の場づくり～

望月 明彦 代表 支援額 130千円（要望額130千円）

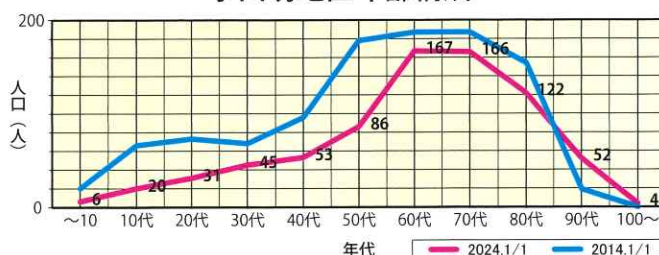
令和3年度完成の東屋は、地区内外から憩いの場として利用する人も多くなった。2年前にベンチ2台を製作設置したが、今回はそれに対応するテーブルを製作設置し憩いの場としたい。

小田切地区10年の人口推移

（1月1日現在）

	人口と世帯		高齢人口（65歳以上）
2024年	752人	401世帯	443人（58.9%）
2014年	1,048人	453世帯	448人（42.7%）

小田切地区年齢構成



富士の塔 せんげんいけ 浅間池

希少生物「モリアオガエル」生息

富士の塔の浅間池には、県の準絶滅危惧種の希少なモリアオガエルが生息しています。モリアオガエルは日本の固有種で、体長は4～9cm程でメスの方が大きく、水辺にせり出した木の枝に広い泡の塊に卵を産み付ける特殊なカエルです。1週間ほどでふ化したオタマジャクシは水面に落ち水中生活し成長すると山の樹木の上で生活し、産卵にまたここに戻ってきます。

6月14日には交流センターの萬綏学級で観察会が行われ、卵塊が100個ほど確認されました。貴重な生息地として自然豊かな環境を保護し地域資源として守っていく必要があります。



市社協「地域福祉セミナー」に参加

福祉委員会は7月19日若里市民文化ホールで開催の「地域福祉セミナー」に参加しました。基調報告は県社協から能登半島地震に係る支援と市社協の個別避難計画の状況報告、続くパネルディスカッションでは、第3地区住自協、園沖支え愛ネットワーク、松代復興応援実行委員会の事例発表があり、日頃の地域活動の積み重ねや福祉の力の必要性が話し合われ、今後の地域活動に活かしていきます。



余剰野菜の有効活用 今年もやっています

昨年から始めた余剰野菜の有効活用は、今年も多くの皆さんからナス、ピーマン、トマトなど夏野菜が提供されています。贈り先は福祉事業所の空風、エコーンファミリーと長野翔和学園で、事業所内の食事や料理に利用され、たいへん好評で感謝されています。

引き続き都合のいい時、住自協窓口まで持参しご協力をお願いします。

山里整備隊グランド整備

5/24、6/7、8/5



安茂里分署「小田切地区地域防災力向上研修」

6/9



招寿会草刈り

6/10



人権教育促進協議会総会

6/19



山野草



ウバユリ

保健補導員会研修「日赤長野県支部」視察

6/24



第74回社会を明るくする運動 街頭活動

7/1



ネジバナ

やまびこ

今年もお盆が過ぎても猛暑が続いており、加えて局所的集中豪雨や雷には警戒を要している。昔ならいっとき夕立があると涼しい風がきて暑さが一段落したものだった。今はスマホで雨雲レーダーの情報をすぐ確認することができる。近くで雷鳴や暗くなった雲が出たらどの辺りなのか、こちらに来そうなのか来ないのかとか、降雨量も時間経過とともに予測できるのはありがたい。